

都市再生整備計画

しんふなおかちく
新船岡地区

みやぎけん しばたまち
宮城県 柴田町

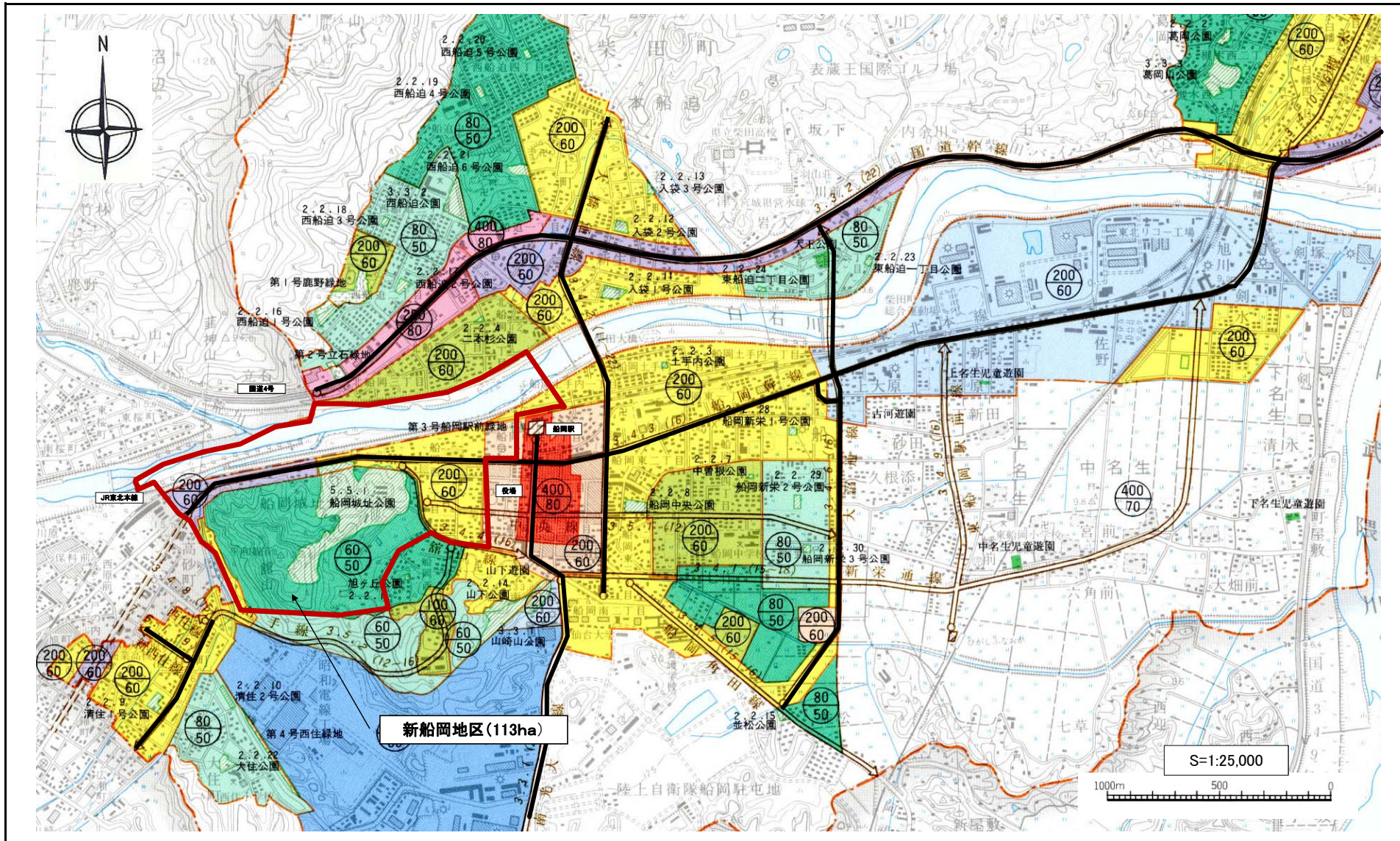
平成23年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1 脆弱な都市施設を更新して交通の利便性と安全性の向上に努める。 毎年全国から大型バスで訪れる多くの観光客から船岡城址公園駐車場まで車の乗り入れを強く求められています。唯一の自動車進入ルートである道路の脆弱化が進行しているため道路改良を実施して、自然と調和した景観を整えながら交通の利便性と安全性の向上を図る。</p>	町道館山2号線道路改良事業(基幹事業)
<p>・整備方針2 美しく、花と緑が織りなす景観づくりに努める。 船岡城址公園の桜と白石川堤の一目千本桜は日本の桜の名所百選に宮城県で唯一選ばれて全国的にも知名度が高く、春には20万人を超える花見の観光客が来町しているが、その景観と一様をなす白石川堤外地の環境整備が整わず不満の声が年々大きくなっています。この、町の重要な観光資源の花(桜)は多くの人々の財産となっており、住民との協働による自然と調和のとれた花と緑が織りなす景観づくりに努める。</p>	白石川堤外地環境整備事業(基幹事業)
<p>・整備方針3 人が主役になり、楽しみながら歩いて暮らせる都市空間を創出して「花(桜)回廊」の充実を図って地域力の向上に努める。 歴史観光ガイドを育成して来訪者の道先案内やサインでの誘導計画、歴史・観光などの視点からの新たな楽しみを伝え歩き、美しく手入れされた個人宅の庭園の一般開放などを相乗させて交流を強めて地域力の向上に努める。</p>	歴史観光ガイド育成事業(提案事業:地域創造支援事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて楽しい魅力的なまちづくりは、住民自治によるまちづくり基本条例の目的のとおり住民の意見を反映するとともに、町の広報誌やホームページなどで広くお知らせしていきます。 ○船岡城址公園整備について <ul style="list-style-type: none"> ・船岡城址公園の花咲山構想に基づき来春の完成を目指して、NHK大河ドラマのシンボル「桜ノ木」周辺に展望デッキA=107㎡、公園下の駐車場から三の丸へ誘導する緩勾配の園路L=200mを現在整備中です。 ○柴田町図書館について <ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体となって検討を進めた図書館の設置は、平成22年5月に船岡城址公園近くのしばたの郷土館内に開設して、公園利用者や来訪者など多くの方に利用されています。 ○ふれあいの森整備について <ul style="list-style-type: none"> ・船岡城址公園内の花木や広葉樹の植樹とあわせて園内の除間伐や歩道の整備を継続的に進めています。春には新しい観光の名所となって多くの来訪者を迎える予定です。 ○柴田町物産交流館について <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者や散策者、春の観光客などへのサービス向上と地域経済の活性化を目的とした物産交流館は、平成23年4月のオープンを目指して船岡城址公園内に現在建設中です。 ○千人植栽活動について <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年11月には地域住民が主体となった協働事業の「千人植栽」は、船岡城址公園と白石川の両拠点に600人もの参加者を集めて花木の植栽を実施しています。 	

都市再生整備計画の区域

<p>新船岡地区(宮城県柴田町)</p>	<p>面積</p>	<p>113 ha</p>	<p>区域 柴田町船岡中央1丁目の一部、船岡西1丁目、船岡西2丁目の一部、船岡土手内1丁目の一部、船岡字川端、船岡字館山、船岡字根形、船岡字鍋倉の一部、船岡字山岸の一部</p>
----------------------	-----------	---------------	--



新船岡地区(宮城県柴田町) 整備方針概要図

目標	人と人が行き来する、歩いて楽しい魅力的なまちづくり	代表的な指標	船岡城址公園来訪者数	(人)	223,024 (22年度)	→	255,000 (27年度)
			船岡城址公園への大型観光バス乗り入れ台数	(台)	324 (22年度)	→	375 (27年度)
			ノルディックウォーカーの年間延べ活動人数	(人)	1,188 (22年度)	→	1,310 (27年度)

